

※2025年3月のRESAS新システムへの移行に伴い、従前のマップ・メニューと内容が異なる場合があります。そのため、新システムが正式に稼働しますと、一部記載のとおりに授業を進められなくなりますことをご了承ください。



地域の課題を発見し解決に取り組む探究学習 「○○(市)活性化プロジェクト」

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 内閣府地方創生推進室 ビッグデータチーム
RESAS副教材作成委員会

学校名

年 組 番 氏名

みなさんのは〇〇(市)が好きですか?

いいところ 好きなところ

わるいところ 嫌いなところ

わるいところの原因は何だと思いますか?
どうすればよくなると思いますか?

わるいところの原因

どうすればよくなる?

プロジェクトの目的

- 1 データを分析し、活用する力を身につける。
 - 2 課題発見力、課題解決力、情報収集・分析力、協働力を養う。
 - 3 新たな価値を創造し、よりよい地域や社会を実現しようとする姿勢や意識を身につける。
 - 4 データを根拠に、論理的に思考する力、結論を得るために客観的に判断する力、他者に伝えるために論理的に表現する力を養う。
-

クイズ

次の数字は何をあらわしているでしょうか?

(Q1) 1億2769万人(2008)
→1億2644万人(2018)

(A1)

(Q2) 28.1%(2018)

(A2)

(Q3) 1.42(2018)

(A3)

(Q4) 49.1万人-35.5万人
=13.6万人(2018)

(A4)

(Q5) 3,658万人(2018)

(A5)

クイズの結果からどんなことが言えますか?



プロジェクトのプロセス

1 地域の特徴をつかむ

1 | 地域の「人の動き」をつかむ

→ 地域経済分析システム(RESAS)

2 | 地域の特徴、現状や課題、政策などを知る

→ 自治体のHP、「人口ビジョン」「総合戦略」などの公開資料

3 | 地域の産業・経済について知る

→ 地域経済分析システム(RESAS)

情報はすべて「情報カード」にまとめよう

(1つの情報につき1つのカードに)

2

課題とその原因を考える

1 | 集めた情報から課題を列挙する

※ データを根拠にして、地域の現状・課題をとらえる

2 | 列挙した課題の原因を考える

※ 課題がおきている原因をできるだけ多く考えてみる

「課題」はデータから考える
「原因」はデータだけでなく得た情報などから広く考える

3

課題を設定し、要因を特定する

1 | 地域に特徴的な課題の組み合わせを考える

※ シンキングツールを活用しながら課題を設定する

2 | 課題と原因の関係を整理し、解決すべき要因を特定する

※ 因果関係を整理し、関係図を作成して要因を特定する

4

課題解決のためのアイデアを考える

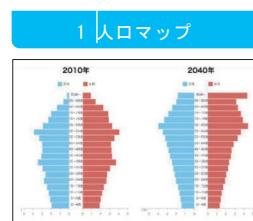
1 | 要因の解決につながるアイデアを考える

※ アイデアを連想しながら広げて創出し、それらを整理・分析して、アイデアを具体化してまとめる

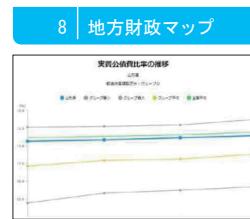
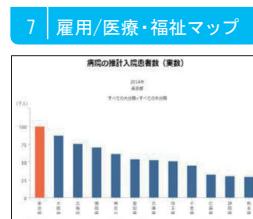
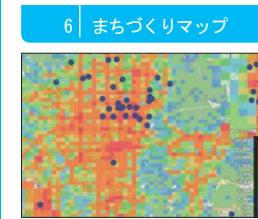
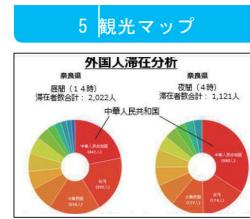
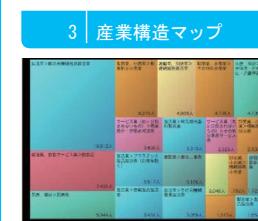
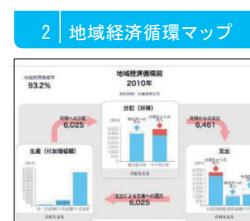
RESAS(リーサス：地域経済分析システム)の概要

目的

- 人口減少、過疎化が構造的に進展し、疲弊する地域経済を真の意味で活性化させていくためには、地域の現状・実態を正確に把握した上で、将来の姿を客観的に予測し、その上で、地域の実情・特性に応じた施策の検証とその実行が不可欠。
- このため、国が、地域経済に係わる様々なビッグデータ（人口動態、産業の強み、人の流れ 等）を収集し、かつ、わかりやすく「見える化（可視化）」するシステムを構築することで、真に効果的な施策の立案、実行、検証（PDCA）を支援する。

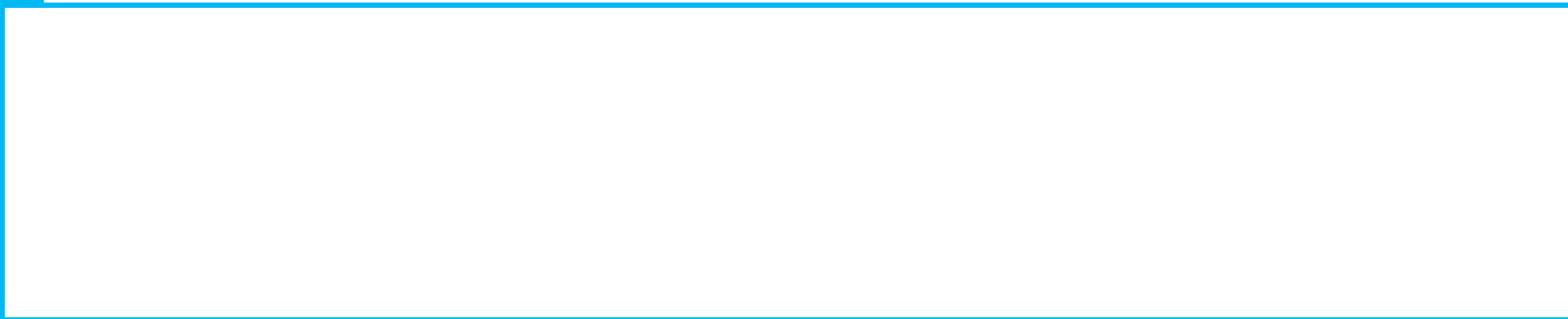


人口推計・推移、
人口ピラミッド、
転入転出などが地域
ごとに比較しながら
把握可能に

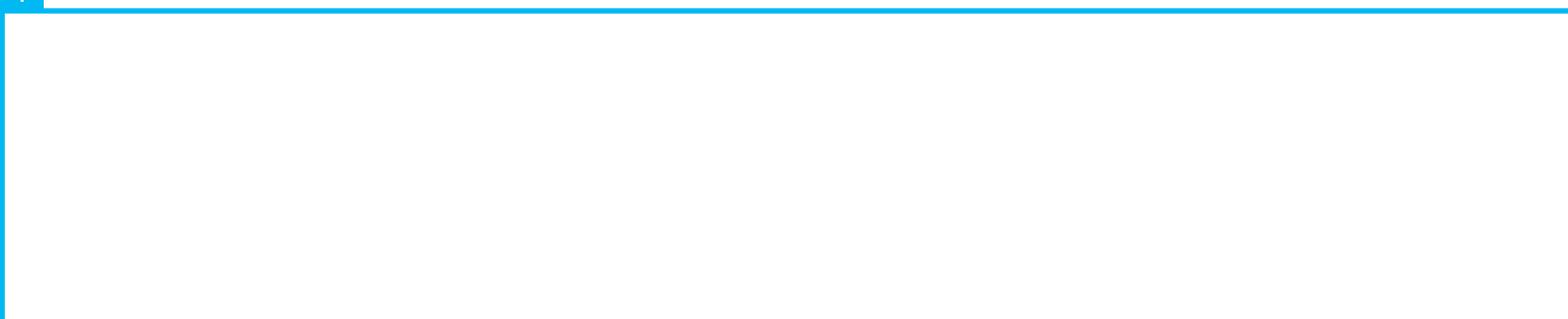


データを見るポイント

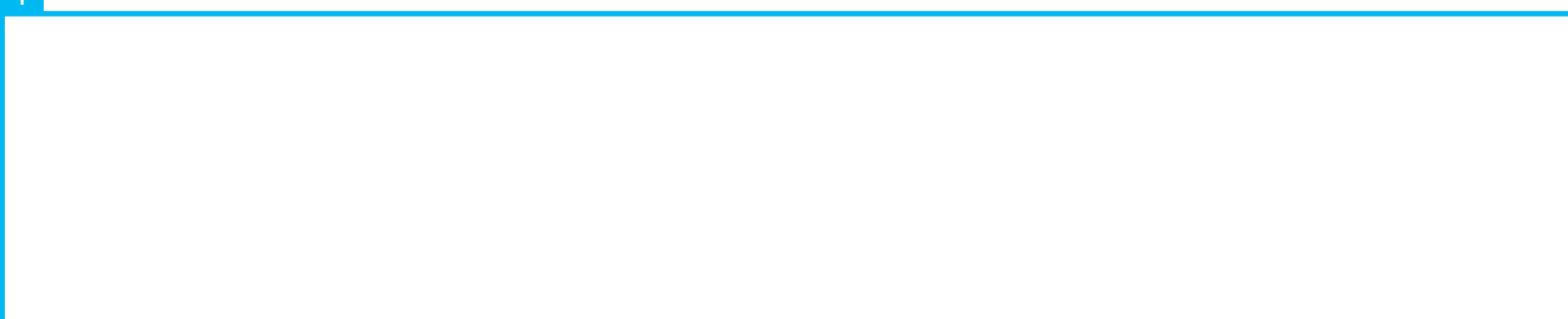
1



1



1



情報カード 定性情報用

整理No.

作成日

/ /

タイトル(参照元)

特徴

※地理・交通・歴史・行政施策・産業・気候・観光・近隣比較など

気づいたこと(強み・課題など)

情報カード データ用(RESASなど)

整理No.

作成日

/ /

タイトル(データの名称)

読み取ったこと

- ① どう推移しているか
- ② 全国平均・都道府県平均・近隣自治体・類似自治体との比較
- ③ 数字の大きいところ、小さいところ

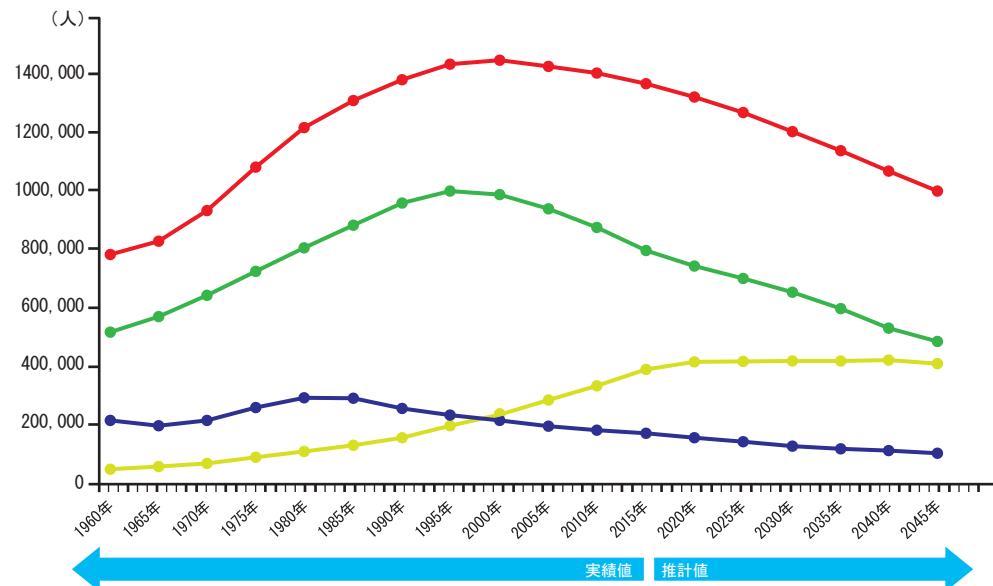
気づいたこと(強み・課題など)

データ貼付欄

人口推移

奈良県

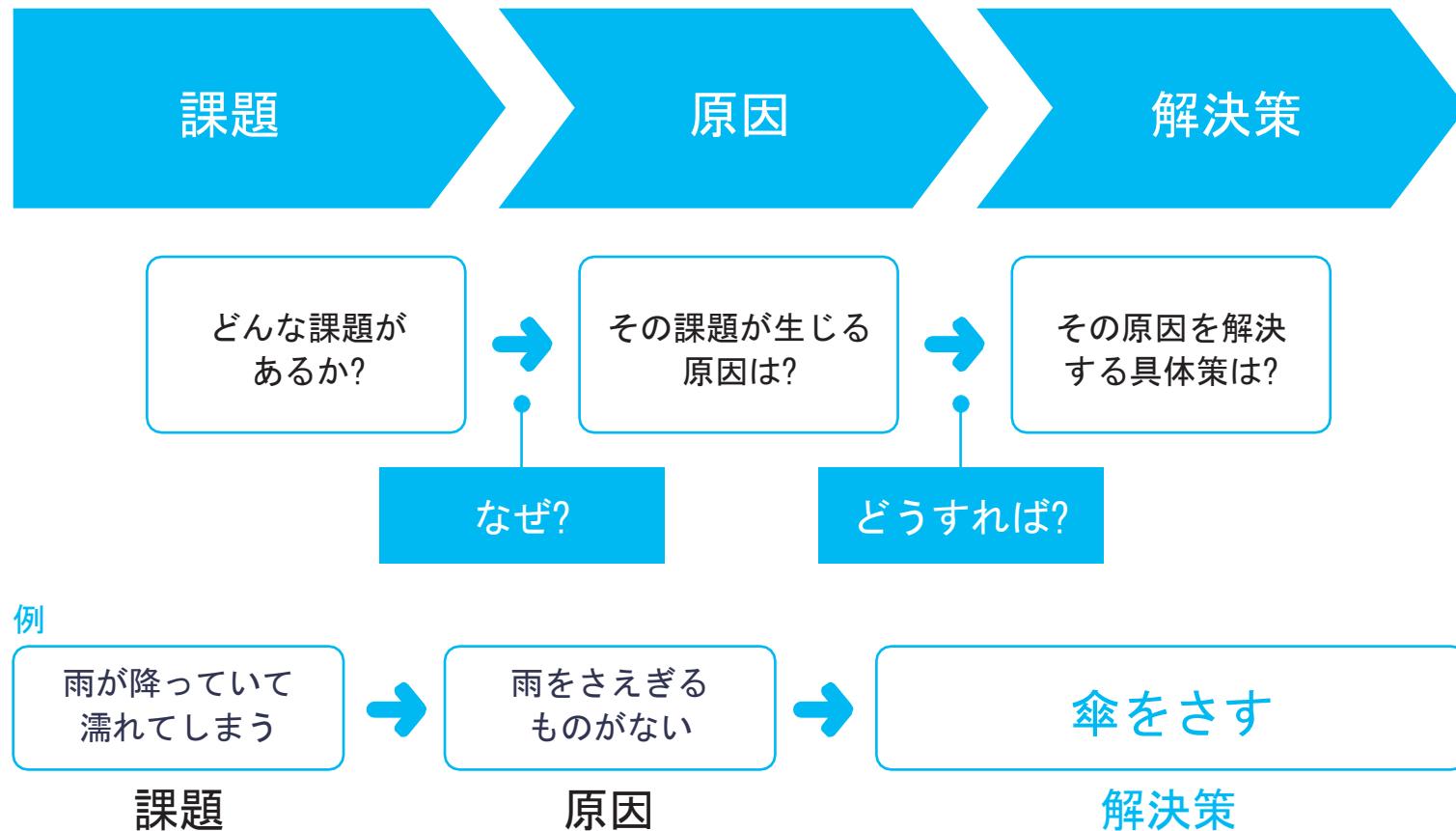
■ 総人口 ■ 年少人口 ■ 生産年齢人口 ■ 老年人口



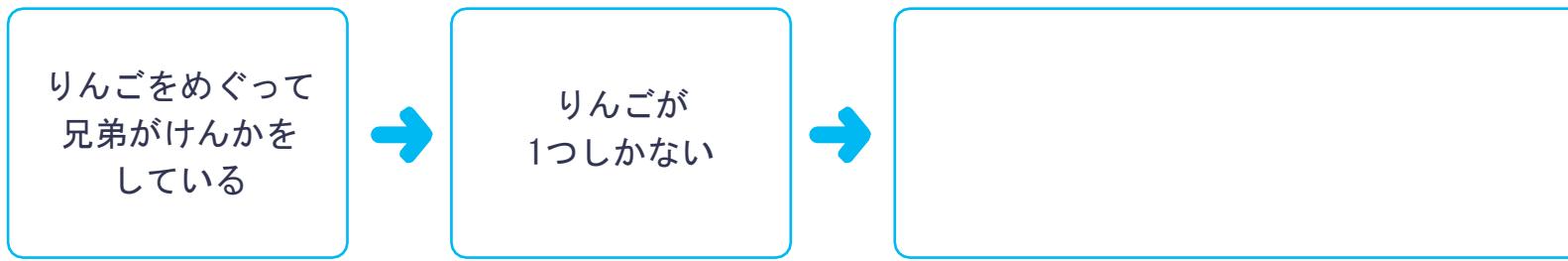
名称(URL)

奈良県の人口推移 (RESAS 人口マップ 人口構成)

他のデータも見てみよう



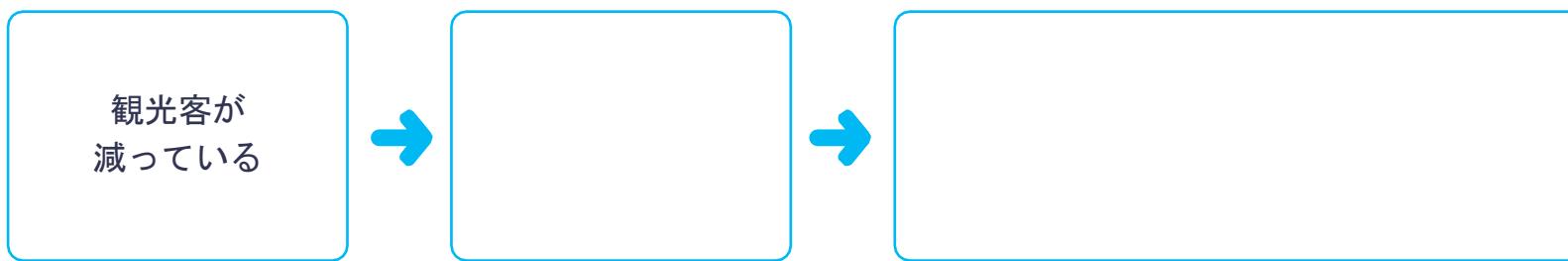
考えてみよう



課題

原因

解決策



課題

原因

解決策

集めた情報から課題を列挙する

※ データを根拠に考えよう

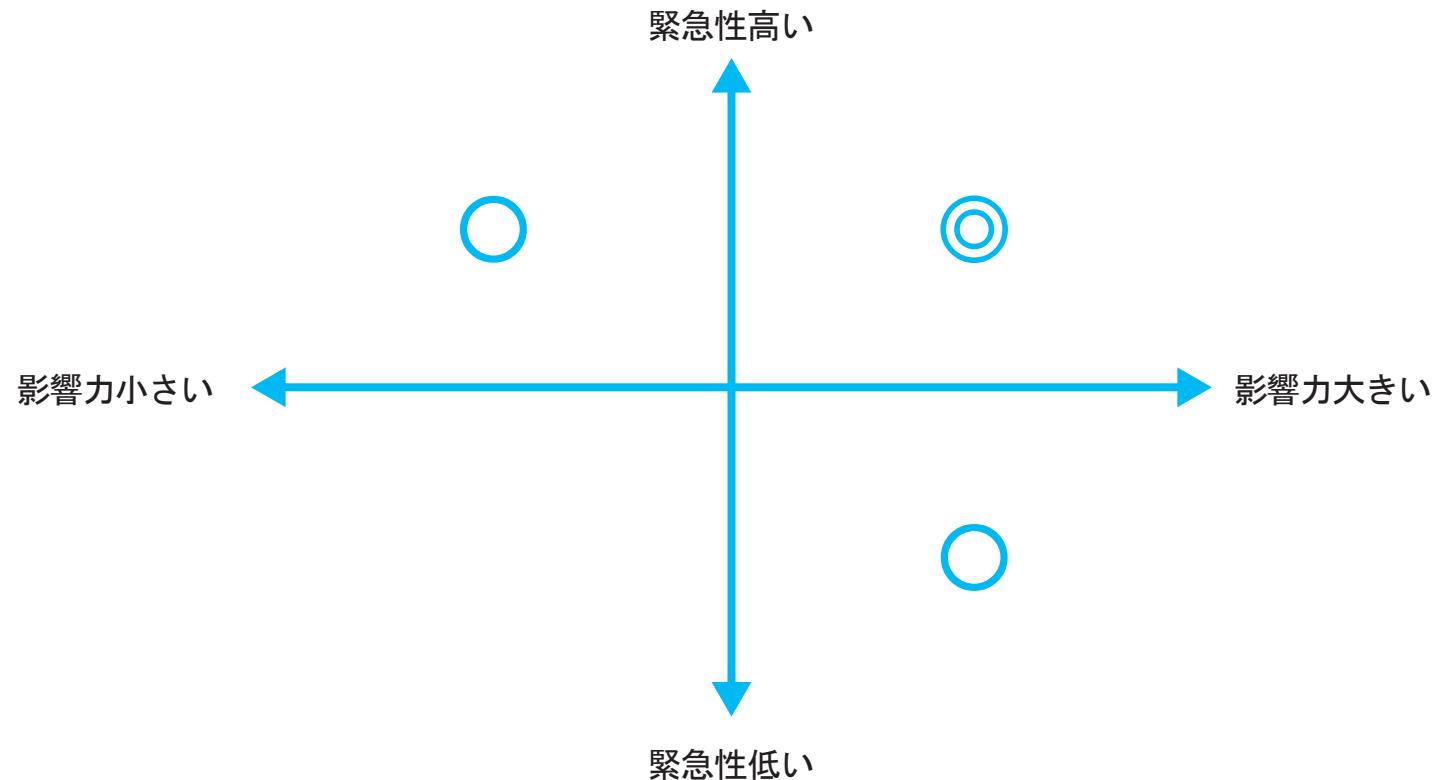
課題の原因を考える

※ データだけでなく集めた情報からも考えよう

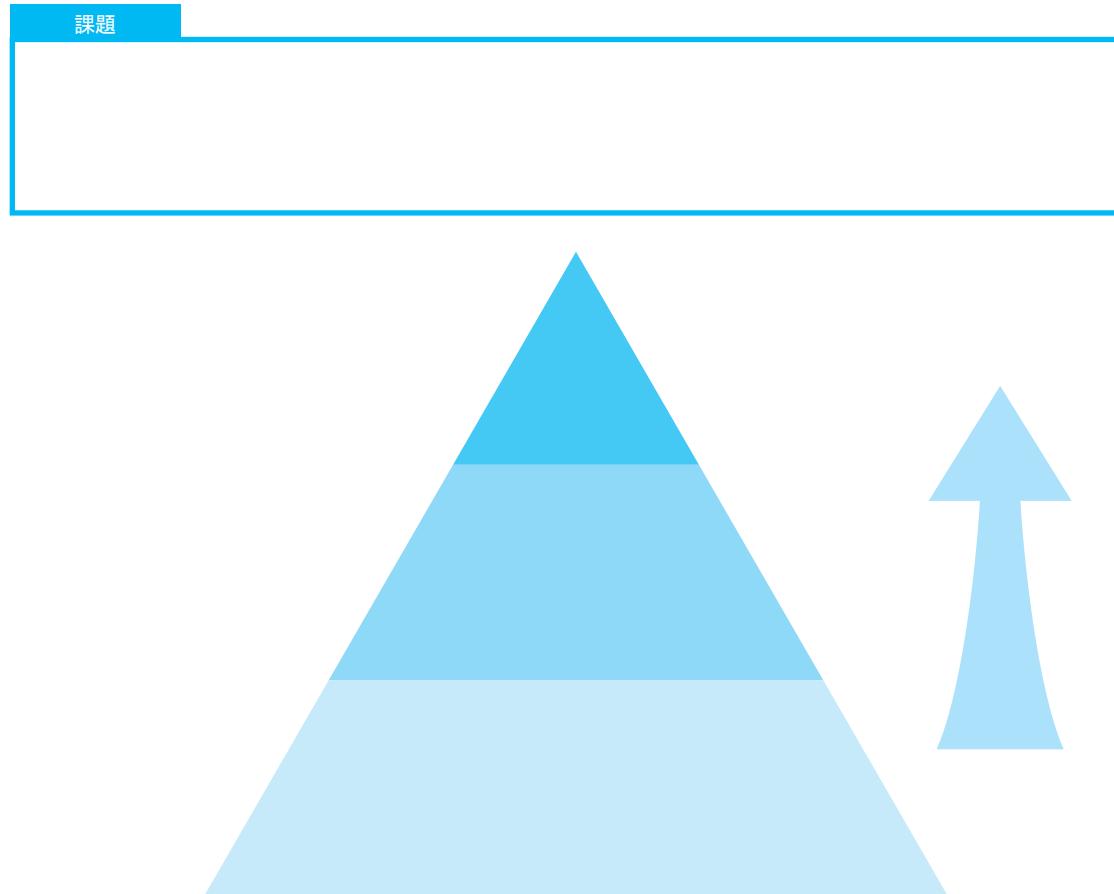
原因記入欄	根拠・参照データ

地域に特徴的な課題の
組み合わせを考える

前回列挙した課題をマトリックス図で整理・分析する



マトリックス図の◎と○のゾーンにある課題を焦点化して
地域に特徴的な課題の組み合わせを設定する



焦点化(ピラミッドチャート)の手順

1 | 一番下の階層に、マトリックス図の◎と○のゾーンにある課題をすべて書き入れる（文ではなく、短い言葉で書く）

2 | 書き入れた言葉を見ながら、マトリックス図の分析結果を参考に、焦点化の方 向性を決める

3 | 一番下の階層から、焦点化したい重要な言葉をつなげたり
補ったりして2番目の階層に書き入れる（長めに書いててもよい）

4 | 2番目の階層からより重要な課題に焦点化して一番上の階層に
書き入れる

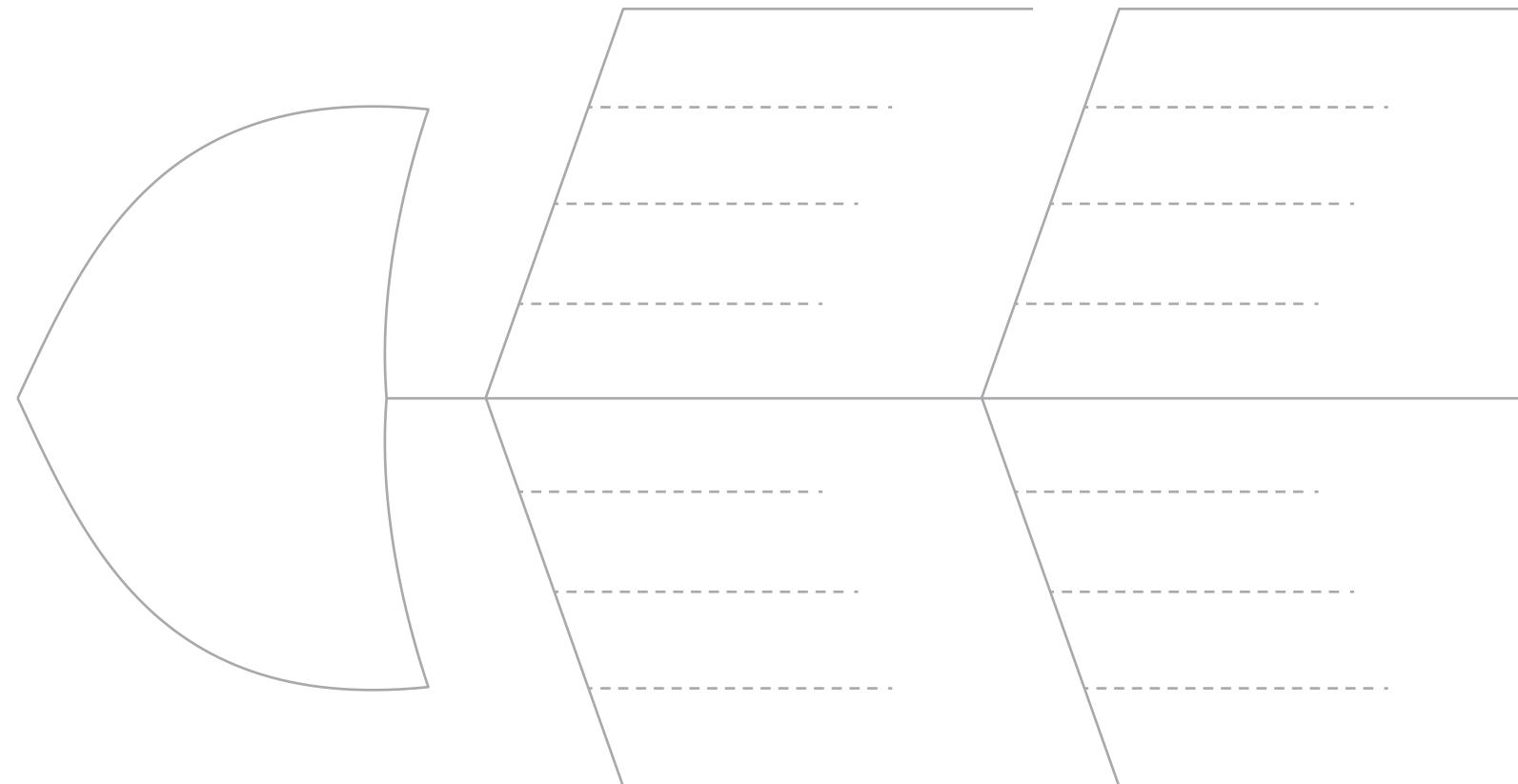
※ 1つにしぼってしまうと一般的な課題になる（例：人口減少）おそれがあるので、地域に特徴的な課題を入れて 2~3
つの課題を設定する

焦点化した地域に特徴的な2~3つの課題を記入する

地域に特徴的な課題の組み合わせ

課題と原因の関係を整理し、
解決すべき要因を特定する

フィッシュボーンで焦点化した課題の原因を分析する



http://ks-lab.net/haruo/thinking_tool/for_print.pdf

1 | 焦点化した課題を頭の部分に書き入れる

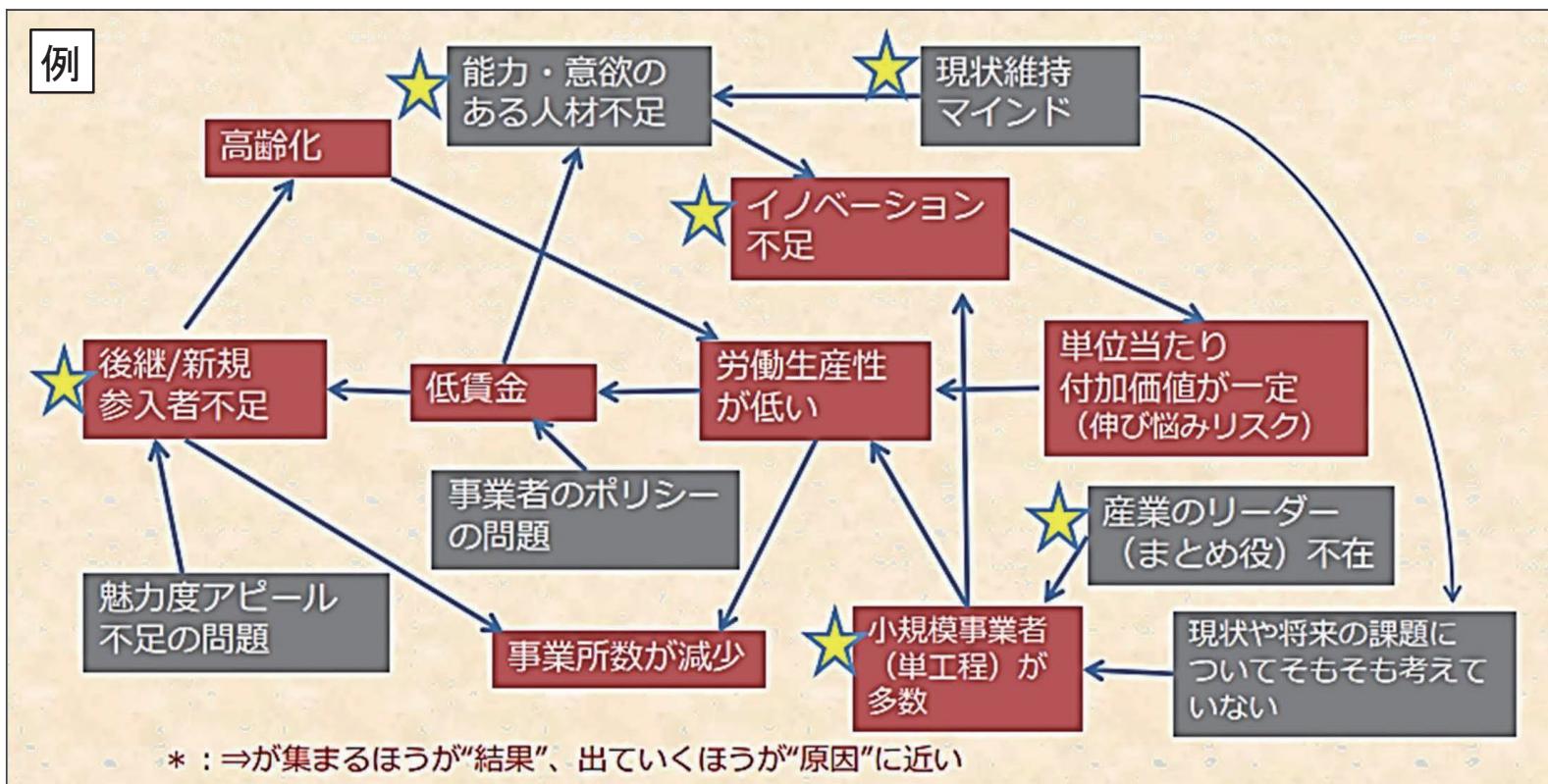
2 | 前回列挙した原因を見て、大まかにグループ化して名前をつけ
(例:人、場所、制度、方法、設備、時期など)、中骨のところに書き入れる

3 | 課題の原因に当たると思われるものをグループごとに
小骨に書き入れる

4 | 課題が起きている「要因」(主な原因)はどれか、見当をつけておく
(変えられることか、対策は可能か)

※ 骨が足りなければ書き加える

課題と原因のつながりを示す関係図を作成して要因を特定する

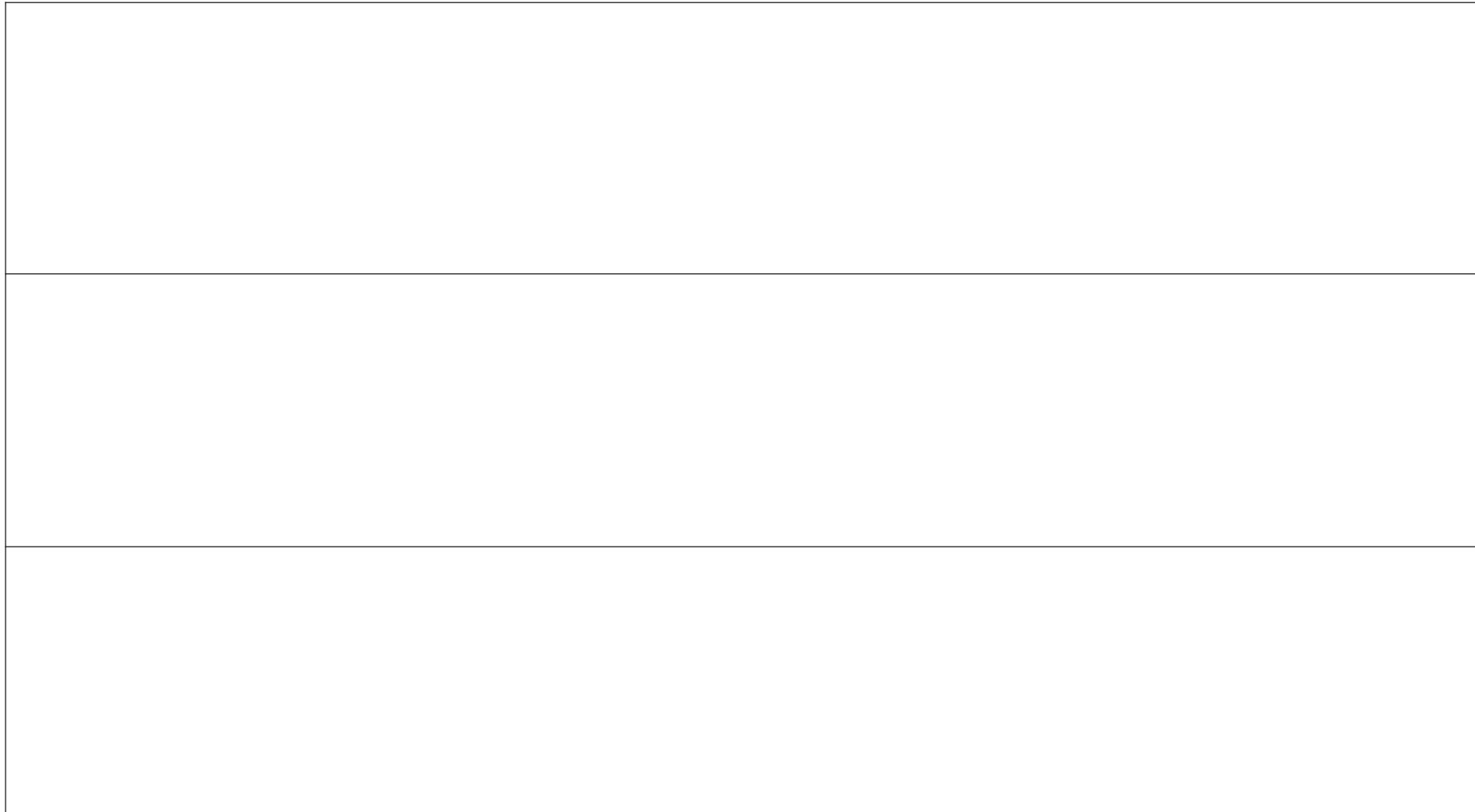


copyright reserved atYoshiki Kashiwagi

作成した関係図から課題の要因を特定する

※ 矢印が出ているところを見て、解決すべき要因を選ぶ(1つにしほる 必要はない)

解決すべき要因



課題解決のための
アイデアを考える

要因がとりのぞかれた状況をイメージする

(要因を真逆に言い換えるだけでもよい)

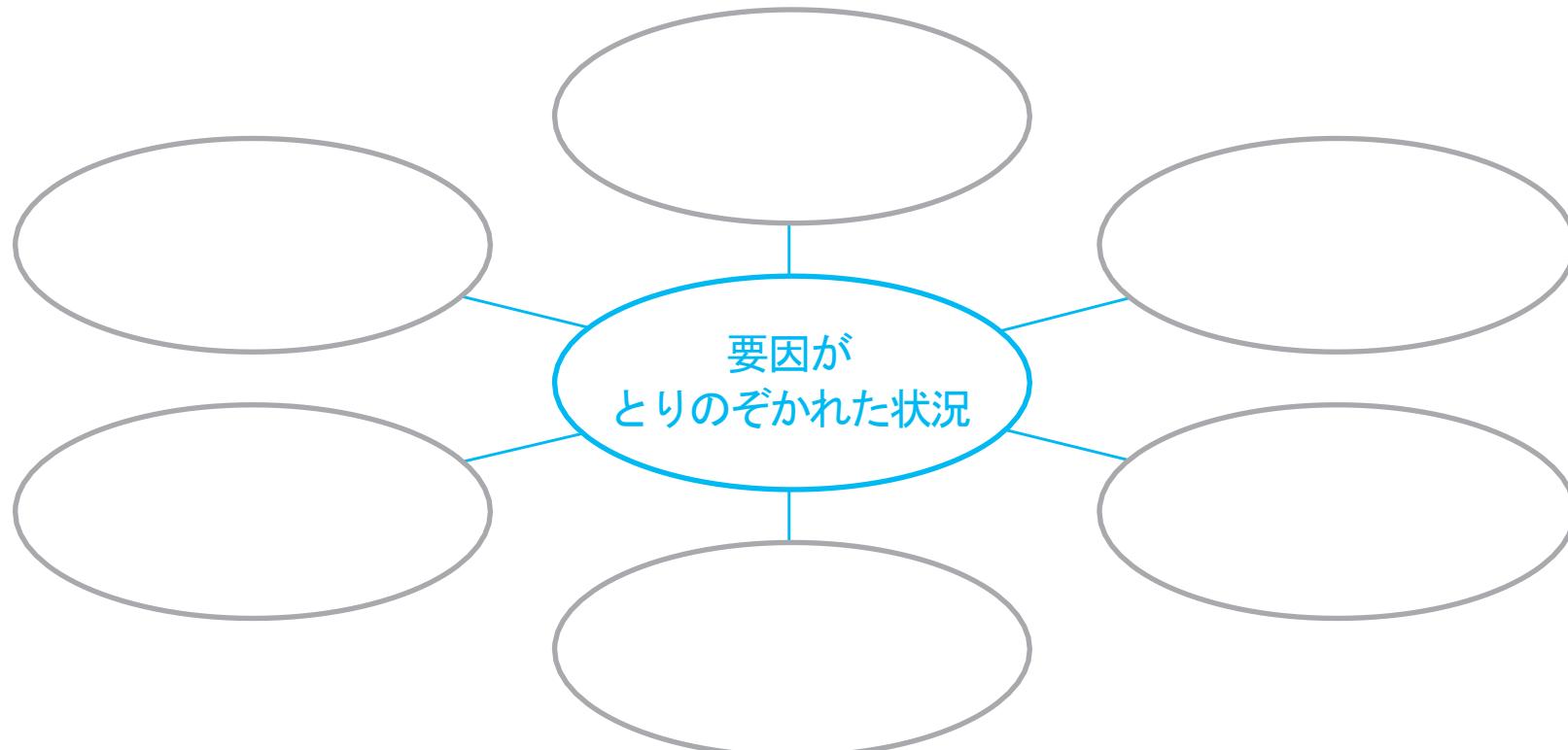
要因がとりのぞかれた状況

これまで集めた情報から地域の魅力や強みをできるだけ列挙する

地域の魅力や強み

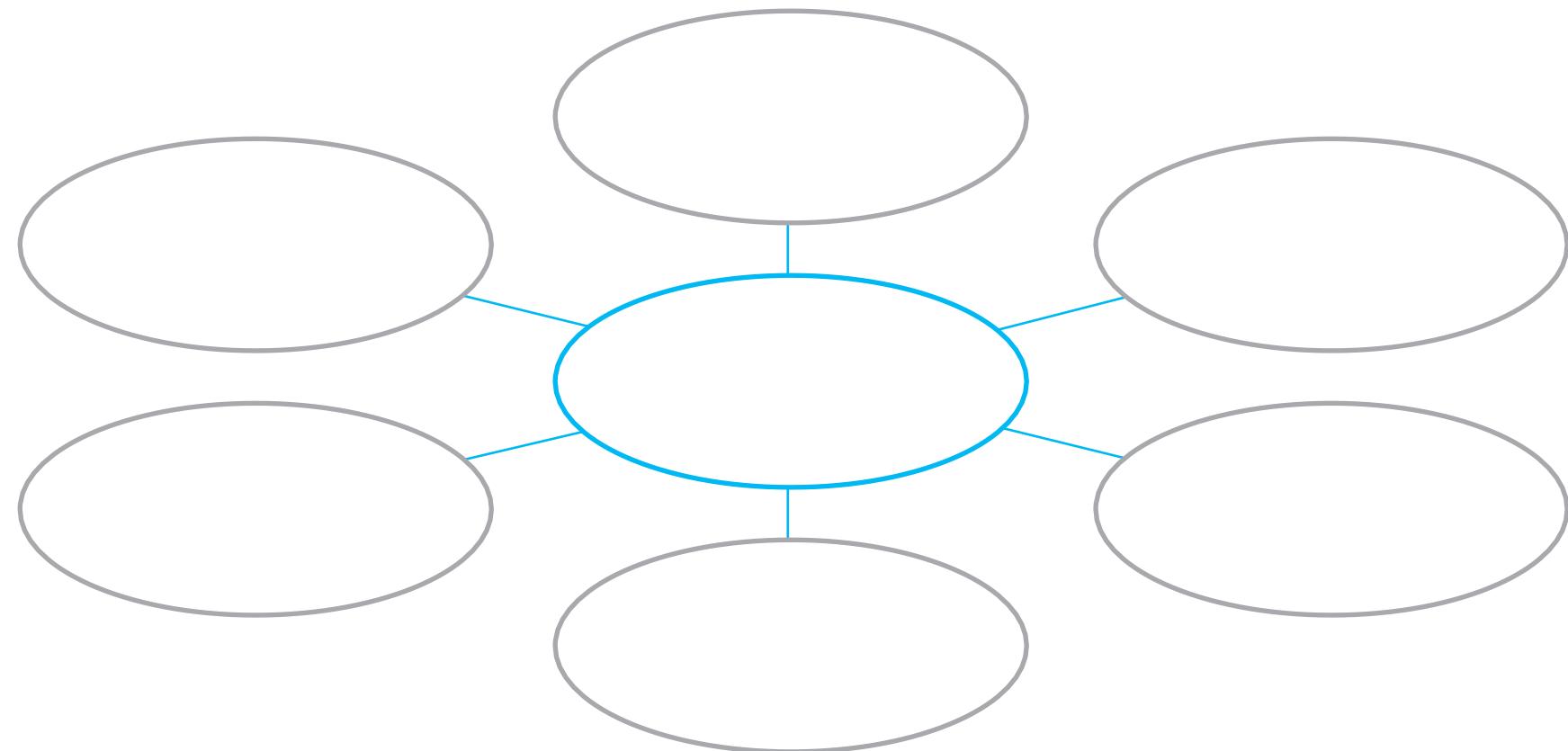
イメージマップでアイデアを生み出す

要因がとりのぞかれた状況を実現するためのアイデアをいろいろ考えてみる



※ 思いつくこと、連想することを書き出し、さらに連想したことを外側に広げて書いていく

イメージマップでアイデアを生み出す



アイデアをまとめて列挙する

アイデア

列举したアイデアそれぞれのメリット・デメリットを考える

アイデア

メリット

デメリット

列挙したアイデアそれぞれのメリット・デメリットを考える

アイデア

メリット

デメリット

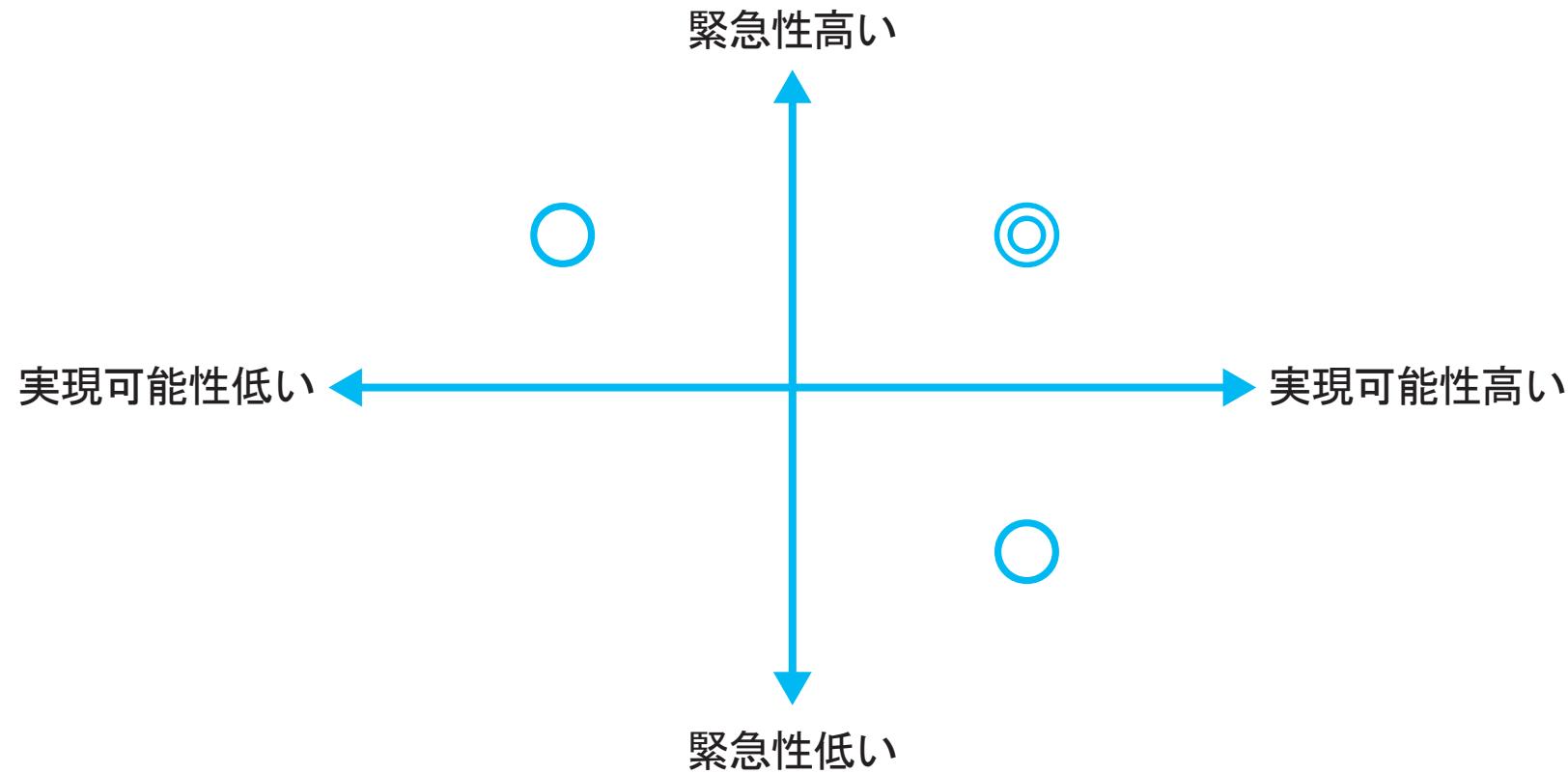
列挙したアイデアそれぞれのメリット・デメリットを考える

アイデア

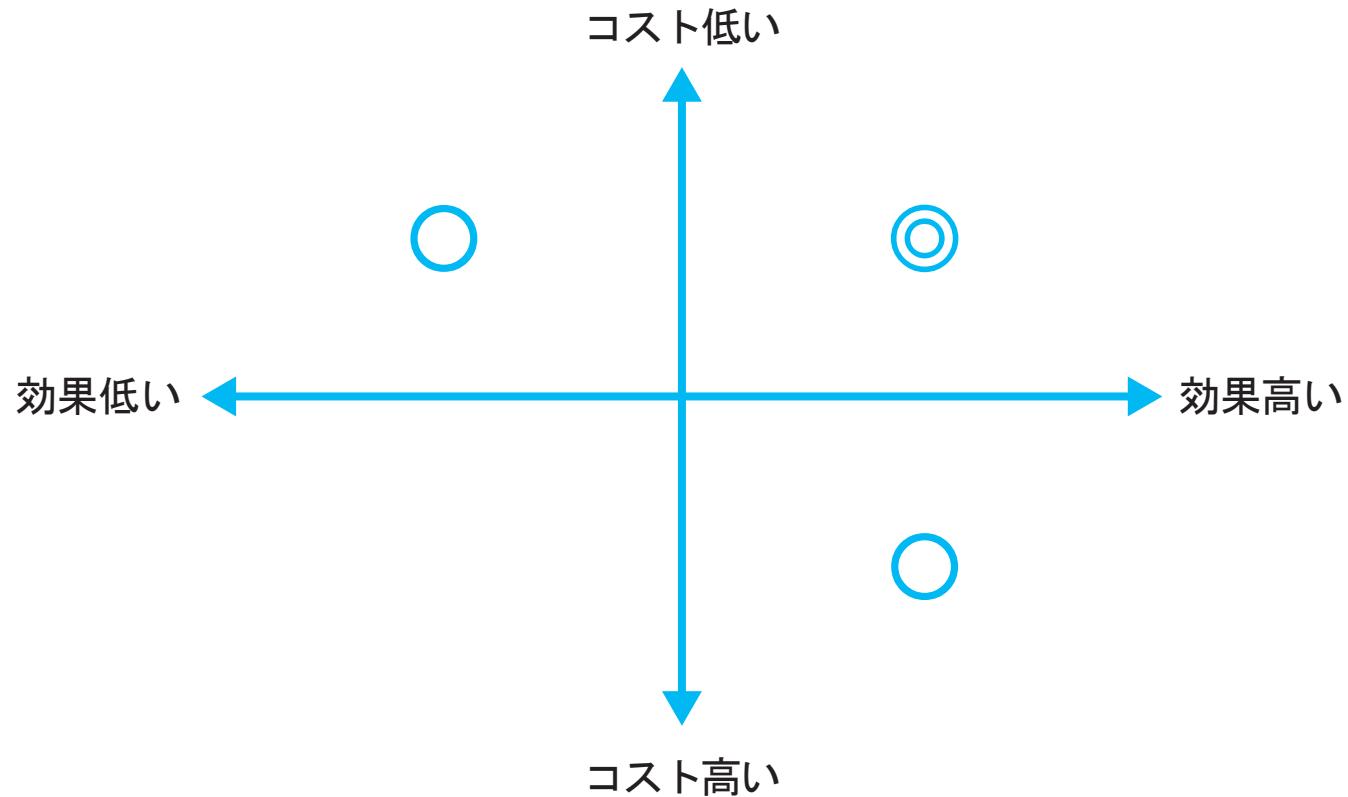
メリット

デメリット

列挙したアイデアをマトリックス図で整理・分析する



アイデアをマトリックス図で整理・分析する

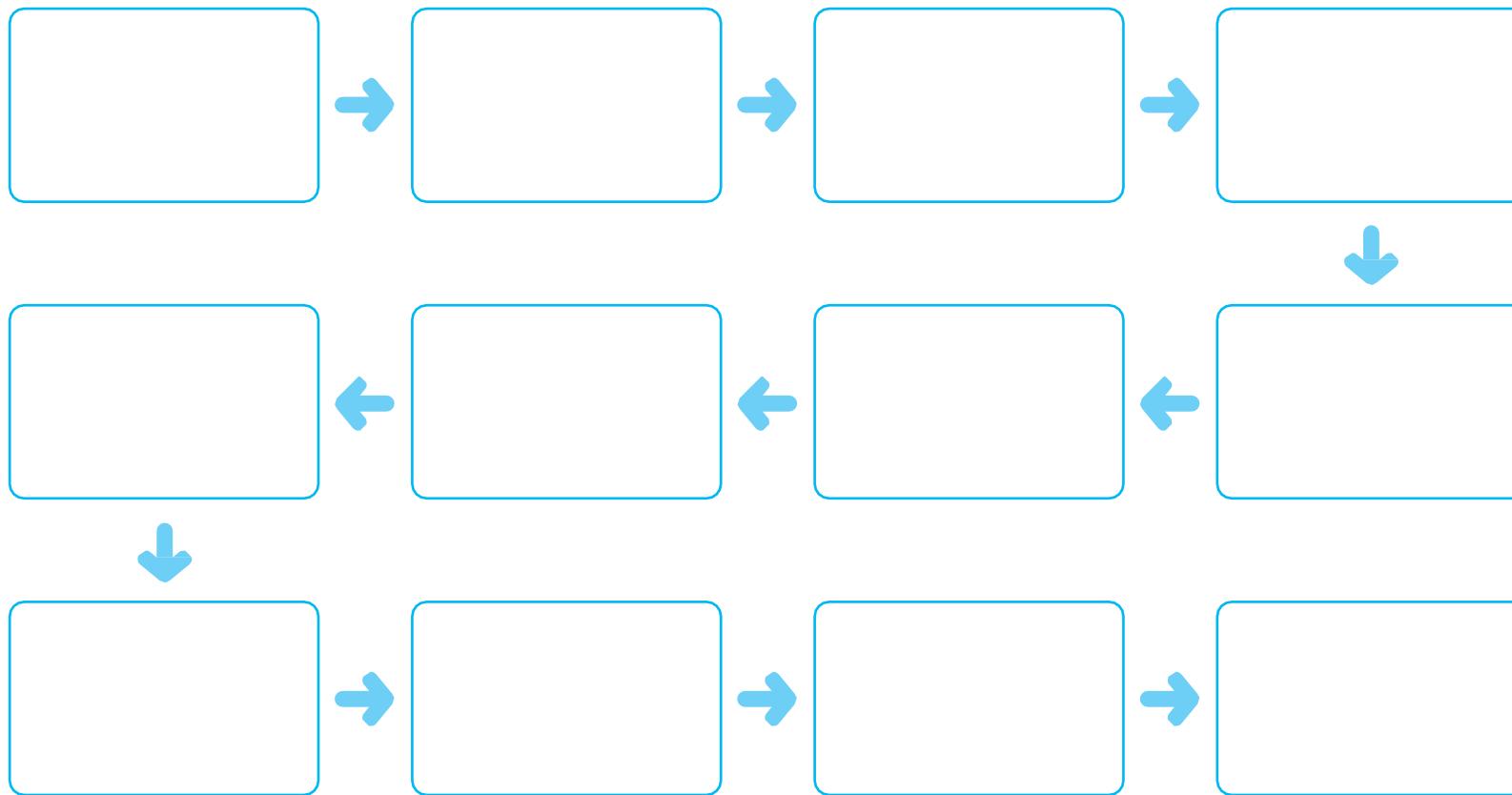


分析(メリット・デメリットとマトリックス図)の結果を参考にアイデアをまとめる

アイデアの概要

アイデアを具体化する

要因がとりのぞかれるまでのプロセスを整理しながら必要なことを考えて具体化する



具体的なアイデアとアイデア実現後の結果(効果)をまとめる

具体的なアイデア

アイデア実現後の結果（効果）

発表する内容

- 1 設定した地域特有の課題の組み合わせ**(データから説明)
- 2 課題の要因**
- 3 アイデアの概要**
- 4 アイデアの具体的な内容**(原因がとりのぞかれるまでのプロセス)
- 5 アイデア実現後の結果**(効果)

発表内容をまとめよう

1

2

3

4

5

活動を振り返ろう

過程の振り返り

課題設定・要因特定・アイデア創出の際にどのように考えましたか?

結果の振り返り

どのような内容になりましたか?また、その内容の良かった点・反省点は何ですか?

「プロジェクトの目的」を振り返り

どのような力が身についたと思いますか?または伸びたと思いますか?

次の探究学習への意気込み

次に向けて、活かしたいことは何ですか?改善したいことは何ですか?

情報カード

※1つの情報につき1つのカードを使用
(コピーしてください)

情報カード 定性情報用

整理No.

作成日

/

/

タイトル(参照元)

特徴

※地理・交通・歴史・行政施策・産業・気候・観光・近隣比較など

気づいたこと(強み・課題など)

情報カード データ用(RESASなど)

整理No.

作成日

/ /

タイトル(データの名称)

読み取ったこと

- ① どう推移しているか
- ② 全国平均・都道府県平均・近隣自治体・類似自治体との比較
- ③ 数字の大きいところ、小さいところ

気づいたこと(強み・課題など)

整理No.

作成日

/

/

データ貼付欄

名称(URL)